

2023(令和5)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2023年6月17日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 9人（内訳：当事者0名、家族6名、専門職3名）

2回目 5人（内訳：当事者1名、家族3名、専門職1名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今回、13時からの1回目には当事者の参加がなく、ご家族と支援者がざっくばらんに日頃感じている悩みや困りごとを話すことができました。ご家族から内服薬の話題があがり、それぞれから日頃お薬について気を付けている事などが聞かれました。病院から新しい薬が出された時には、服用後しばらくはご本人の言動を家族が注意してきているとのお話に、「何か変だな。おかしいな」と違和感がある時には、次回の受診予約を待たずに主治医に連絡・相談することが大事だということ共有することができました。

5. 所感

先月のカフェにも参加したご家族から、「前回皆さんから頂いたアドバイスで、これまで躊躇していた介護保険の申請を決め、新オレンジサポート室にも支援してもらいながら申請を済ませることができました」と報告がありました。それぞれの抱える悩みは多様ですが、当事者・ご家族の集うカフェだからこそ打ち明けることができ、アドバイスを介護者先輩から頂く事で、解決の糸口が見つかることもあります。これからも大切な集いを支援していきたいと感じました。今回のスイーツはスコーンでした（全5種類）。



★次回予定：2023年7月15日（土）

以上